



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月10日

上場会社名 フマキラー株式会社 上場取引所 東
コード番号 4998 URL <https://www.fumakilla.co.jp>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）大下 一明
問合せ先責任者 （役職名）取締役管理本部長 （氏名）郷原 和哉 TEL 0829-55-2112
半期報告書提出予定日 2025年11月11日 配当支払開始予定日 ー
決算補足説明資料作成の有無： 無
決算説明会開催の有無： 有 （機関投資家、アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	40,142	△1.0	2,120	30.5	2,127	35.9	1,326	78.7
2025年3月期中間期	40,550	9.3	1,624	13.8	1,565	△11.2	742	△17.3

（注）包括利益 2026年3月期中間期 729百万円（△70.7%） 2025年3月期中間期 2,490百万円（△14.8%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	80.47	—
2025年3月期中間期	45.04	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期中間期	62,575	27,951	40.9	1,553.87
2025年3月期	64,970	27,723	38.9	1,532.58

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 25,606百万円 2025年3月期 25,256百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	—	—	22.00	22.00
2026年3月期	—	—			
2026年3月期（予想）			—	24.00	24.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2026年3月期連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	77,100	4.4	2,900	9.6	2,980	18.3	1,960	34.0	118.96

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更： 無

新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年3月期中間期	16,490,000株	2025年3月期	16,490,000株
2026年3月期中間期	10,536株	2025年3月期	10,436株
2026年3月期中間期	16,479,535株	2025年3月期中間期	16,479,969株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (中間期)

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当資料における業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定の要素を含んでいます。実際の業績等は業況の変化等により、上記予想数値とは異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料の4ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
中間連結損益計算書	7
中間連結包括利益計算書	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(セグメント情報等の注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(継続企業の前提に関する注記)	11

1. 経営成績等の概況

文中の将来に関する事項は、当中間連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 当中間期の経営成績の概況

(経営成績)

(単位：百万円)

指標等	2025年3月期 中間期累計	2026年3月期 中間期累計	増減額	増減率 (%)
売上高	40,550	40,142	△408	△1.0
営業利益	1,624	2,120	495	30.5
経常利益	1,565	2,127	561	35.9
親会社株主に帰属する 中間純利益	742	1,326	583	78.7
1株当たり中間純利益	45円04銭	80円47銭		

(国内・海外売上成績)

(単位：百万円)

	2025年3月期 中間期累計	2026年3月期 中間期累計	増減額	増減率 (%)
国内	15,443	14,792	△651	△4.2
海外	25,107	25,350	242	1.0
合計	40,550	40,142	△408	△1.0
海外売上構成比	61.9%	63.2%		

当中間連結会計期間（2025年4月1日から2025年9月30日まで）におけるわが国の経済は、賃金上昇の動きや円安を背景としたインバウンド需要の増加が見られたものの、実質賃金のマイナスが続き個人消費は力強さを欠く状況が続きました。世界経済においては、米国の景気は底堅く推移した一方、中国経済の回復の遅れや、各地の地政学リスクの高まりなど、依然として先行き不透明な状況が続きました。

このような状況の中で、当社グループは「ひとの命を守る。ひとの暮らしを守る。ひとを育む環境を守る。わたしたちは、世界中の人々がいつまでも安心して快適に暮らすことのできる社会づくりに貢献していきます。」という経営理念のもとで、それぞれの国に最適な高効力・高品質の商品を提供し、世界中のより多くの人々に安心を届けることを目指しています。

特に、この数年でグループ全体の事業領域と欧州展開をはじめとする地理的な拡大が進んだため、それらの経営基盤強化と事業展開のスピードアップを積極的に進めてまいりました。

その結果、連結売上高は前年同期比1.0%減の401億42百万円（為替変動の影響を除くと1.8%増）となりました。

国内売上は、防疫剤が増収となった一方で、殺虫剤、家庭用品、園芸用品の主要3ジャンルで減収となり、前年同期比4.2%減の147億92百万円となりました。一方、海外売上は前年に比べ円高で推移したことから為替による減収要因はあったものの、欧州、その他の地域を中心に伸長した結果、前年同期比1.0%増の253億50百万円（為替変動の影響を除くと5.5%増）となりました。

売上原価は、前年同期比10億73百万円減少し276億79百万円となり、売上原価率は2.0ポイント減の69.0%となりました。売上総利益は124億63百万円（前年同期比5.6%増）となりました。

販管費につきましては、海外での積極的な広告投資や人件費の増加等により、前年同期比1.7%増の103億42百万円となりました。

これらの結果、営業利益は21億20百万円（前年同期比30.5%増）、経常利益は21億27百万円（前年同期比35.9%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は13億26百万円（前年同期比78.7%増）となりました。

次に、セグメント別の概況についてご報告申し上げます。

(単位：百万円)

		2025年3月期 中間期累計	2026年3月期 中間期累計	増減額	増減率(%)
日本		15,604	14,923	△681	△4.4
	殺虫剤	7,927	7,758	△168	△2.1
	家庭用品	854	771	△83	△9.8
	園芸用品	2,621	2,371	△249	△9.5
	防疫剤	886	919	33	3.8
	その他	3,314	3,102	△212	△6.4
東南アジア		16,298	15,976	△322	△2.0
	殺虫剤	16,277	15,897	△380	△2.3
	家庭用品	21	79	58	275.4
欧州		7,498	7,754	256	3.4
	殺虫剤	7,498	7,754	256	3.4
その他		1,148	1,487	338	29.5
	殺虫剤	1,148	1,487	338	29.5
合計		40,550	40,142	△408	△1.0
	殺虫剤	32,852	32,898	45	0.1
	家庭用品	876	850	△25	△2.9
	園芸用品	2,621	2,371	△249	△9.5
	防疫剤	886	919	33	3.8
	その他	3,314	3,102	△212	△6.4

日本

殺虫剤部門は、春先の天候が悪く市場の立ち上がりが遅れたことに加え、8月の酷暑の影響ならびに価格改定などにより売上数量が減少したため、77億58百万円(前年同期比1億68百万円減、2.1%減)の売上となりました。

家庭用品部門は、花粉関連商材の返品が減少した一方で、アルコール除菌剤、除湿剤の売上が前期を下回ったことなどにより、7億71百万円(前年同期比83百万円減、9.8%減)となりました。

園芸用品部門は、春先の天候不順などで売上が減少したことにより、23億71百万円(前年同期比2億49百万円減、9.5%減)となりました。

防疫剤部門の売上高は、9億19百万円(前年同期比33百万円増、3.8%増)となりました。

その他の部門は、31億2百万円(前年同期比2億12百万円減、6.4%減)となりました。

なお、外部顧客に対する売上高は、149億23百万円(前年同期比6億81百万円減、4.4%減)で、セグメント損失は価格改定の効果もあり2億24百万円(前年同期は9億21百万円のセグメント損失)となりました。

東南アジア

現地通貨では主要各国で前期を上回ったものの円高の影響を受けた結果、外部顧客に対する売上高は159億76百万円(前年同期比3億22百万円減、2.0%減)となりました。また、セグメント利益は9億22百万円(前年同期比3億67百万円減、28.5%減)となりました。

欧州

円高の影響を受けたものの現地通貨では前期を上回った結果、外部顧客に対する売上高は77億54百万円(前年同期比2億56百万円増、3.4%増)となりました。また、セグメント利益は8億23百万円(前年同期比11百万円減、1.4%減)となりました。

その他

インドとメキシコを中心に販売し、外部顧客に対する売上高は14億87百万円(前年同期比3億38百万円増、29.5%増)となりました。また、セグメント利益は1億77百万円(前年同期比46百万円増、35.2%増)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末における総資産額は、前連結会計年度末に比べて23億95百万円減少し、625億75百万円となりました。主な要因は土地が9億99百万円、電子記録債権が8億32百万円、投資有価証券が7億15百万円、返品資産が3億31百万円、建設仮勘定が2億75百万円増加した一方で、売掛金が20億82百万円、商品及び製品が18億47百万円、現金及び預金が17億62百万円減少したこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比べて26億22百万円減少し、346億24百万円となりました。主な要因は未払金が14億29百万円、支払手形及び買掛金が10億85百万円、長期借入金が9億45百万円、返金負債が9億6百万円、未払法人税等が4億79百万円増加した一方で、短期借入金が72億95百万円、賞与引当金が2億33百万円減少したこと等によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比べて2億27百万円増加し、279億51百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が9億63百万円、その他有価証券評価差額金が4億91百万円増加した一方で、為替換算勘定が11億8百万円、非支配株主持分が1億23百万円減少したこと等によるものであります。

自己資本比率は2.0ポイント増加し40.9%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ25億14百万円減少し、68億46百万円となりました。

営業活動によって獲得した資金は76億23百万円(前年同期は68億55百万円の獲得)となりました。これは税金等調整前中間純利益が21億36百万円、減価償却費が8億17百万円、売上債権の減少額が9億85百万円、棚卸資産の減少額が17億59百万円、仕入債務の増加額が10億48百万円、返金負債の増加額が9億2百万円あったこと等によるものであります。

投資活動によって使用した資金は26億99百万円(前年同期は6億64百万円の使用)となりました。これは定期預金の増加額が7億57百万円、有形固定資産の取得による支出が18億29百万円あったこと等によるものであります。

財務活動によって使用した資金は69億45百万円(前年同期は72億69百万円の使用)となりました。これは短期借入金の純増減額の減少が73億61百万円、長期借入れによる収入が12億67百万円、配当金の支払額が3億62百万円あったこと等によるものであります。

なお、当中間連結会計期間末における借入金残高は、前連結会計年度末に比べ62億3百万円減少して、101億64百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2025年5月14日の決算発表時点と変更はありません。なお、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる可能性があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年 3 月31日)	当中間連結会計期間 (2025年 9 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,048	8,285
受取手形	63	2
売掛金	17,466	15,384
電子記録債権	524	1,357
商品及び製品	8,839	6,992
仕掛品	753	710
原材料及び貯蔵品	4,653	4,594
返品資産	737	1,068
その他	1,435	2,082
貸倒引当金	△20	△23
流動資産合計	44,502	40,455
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	5,509	5,444
機械装置及び運搬具 (純額)	2,392	2,221
工具、器具及び備品 (純額)	498	436
土地	948	1,948
リース資産 (純額)	38	63
使用権資産 (純額)	766	714
建設仮勘定	504	780
有形固定資産合計	10,657	11,610
無形固定資産		
のれん	952	844
商標権	744	661
その他	1,268	1,190
無形固定資産合計	2,966	2,696
投資その他の資産		
投資有価証券	5,177	5,892
退職給付に係る資産	187	202
その他	1,648	1,881
貸倒引当金	△169	△164
投資その他の資産合計	6,844	7,812
固定資産合計	20,468	22,120
資産合計	64,970	62,575

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,371	8,457
電子記録債務	2,216	2,111
短期借入金	15,514	8,218
1年内返済予定の長期借入金	293	439
リース債務	104	83
未払金	3,573	5,003
未払法人税等	155	635
賞与引当金	808	574
返金負債	2,295	3,201
その他	903	721
流動負債合計	33,238	29,447
固定負債		
長期借入金	560	1,506
リース債務	283	302
退職給付に係る負債	877	831
役員退職慰労引当金	459	504
資産除去債務	34	34
その他	1,793	1,996
固定負債合計	4,008	5,176
負債合計	37,246	34,624
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,698	3,698
資本剰余金	4,659	4,659
利益剰余金	11,558	12,521
自己株式	△9	△9
株主資本合計	19,906	20,869
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,065	2,557
為替換算調整勘定	3,208	2,099
退職給付に係る調整累計額	75	80
その他の包括利益累計額合計	5,349	4,737
非支配株主持分	2,467	2,344
純資産合計	27,723	27,951
負債純資産合計	64,970	62,575

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	40,550	40,142
売上原価	28,752	27,679
売上総利益	11,798	12,463
販売費及び一般管理費	10,173	10,342
営業利益	1,624	2,120
営業外収益		
受取利息	70	75
受取配当金	82	96
還付消費税等	—	41
その他	141	86
営業外収益合計	293	300
営業外費用		
支払利息	83	89
為替差損	247	172
その他	21	31
営業外費用合計	352	293
経常利益	1,565	2,127
特別利益		
固定資産売却益	2	4
投資有価証券売却益	—	4
特別利益合計	2	9
特別損失		
固定資産除売却損	2	0
役員退職慰労金	0	—
特別損失合計	3	0
税金等調整前中間純利益	1,565	2,136
法人税、住民税及び事業税	718	870
法人税等調整額	△88	△162
法人税等合計	630	707
中間純利益	934	1,428
非支配株主に帰属する中間純利益	192	102
親会社株主に帰属する中間純利益	742	1,326

(中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 9 月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 9 月30日)
中間純利益	934	1,428
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	99	491
為替換算調整勘定	1,450	△1,193
退職給付に係る調整額	5	3
その他の包括利益合計	1,556	△698
中間包括利益	2,490	729
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	2,215	714
非支配株主に係る中間包括利益	275	15

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 9 月 30 日)	当中間連結会計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 9 月 30 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,565	2,136
減価償却費	890	817
のれん償却額	67	65
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	7	△4
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△14	2
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△110	△223
受取利息及び受取配当金	△152	△172
支払利息	83	89
為替差損益 (△は益)	6	0
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△4
有形固定資産除売却損益 (△は益)	0	△4
受取保険金	△2	△10
売上債権の増減額 (△は増加)	1,681	985
棚卸資産の増減額 (△は増加)	2,951	1,759
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,226	1,048
返品資産の増減額 (△は増加)	△532	△327
返金負債の増減額 (△は減少)	1,334	902
その他	601	932
小計	7,151	7,994
利息及び配当金の受取額	156	170
利息の支払額	△91	△101
保険金の受取額	2	10
役員退職慰労金の支払額	△0	—
法人税等の支払額	△363	△451
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,855	7,623
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△3	△757
有形固定資産の取得による支出	△599	△1,829
有形固定資産の売却による収入	0	1
無形固定資産の取得による支出	△19	△12
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
投資有価証券の売却による収入	—	5
その他	△41	△104
投資活動によるキャッシュ・フロー	△664	△2,699
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△6,424	△7,361
長期借入れによる収入	344	1,267
長期借入金の返済による支出	△171	△198
リース債務の返済による支出	△135	△152
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△362	△362
非支配株主への配当金の支払額	△199	△137
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△319	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,269	△6,945
現金及び現金同等物に係る換算差額	539	△493
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△538	△2,514
現金及び現金同等物の期首残高	8,172	9,361
現金及び現金同等物の中間期末残高	7,633	6,846

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前中間連結会計期間 (自2024年4月1日 至2024年9月30日)

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	日本	東南アジア	欧州	計		
売上高						
外部顧客への売上高	15,604	16,298	7,498	39,401	1,148	40,550
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,039	1,258	—	3,298	—	3,298
計	17,643	17,557	7,498	42,699	1,148	43,848
セグメント利益又は損失 (△)	△921	1,289	834	1,203	130	1,334

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド、メキシコの現地法人の事業活動を含んでおります。

(2) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,203
「その他」の区分の利益	130
セグメント間取引消去	290
中間連結損益計算書の営業利益	1,624

(3) 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当中間連結会計期間 (自2025年4月1日 至2025年9月30日)

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	日本	東南アジア	欧州	計		
売上高						
外部顧客への売上高	14,923	15,976	7,754	38,654	1,487	40,142
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,657	1,385	—	4,042	39	4,082
計	17,580	17,362	7,754	42,697	1,526	44,224
セグメント利益又は損失 (△)	△224	922	823	1,521	177	1,698

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド、メキシコの現地法人の事業活動を含んでおります。

(2) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,521
「その他」の区分の利益	177
セグメント間取引消去	421
中間連結損益計算書の営業利益	2,120

(3) 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。